憲法９条の会つくば コミュニティニュース

結
yui

2011. 7. 17
No.40

発行「 憲法９条の会つくば 」
〒305-0005
つくば市天久保 1-10-12 1-401
電話 090-3811-3753
Fax 029-857-6978
http://peace.arrow.jp/tsukuba/

うたごえは平和の力 生きるよろこび

――初めてのうたごえ喫茶　楽しく歌いました！

６月１２日（日）、まつぼっくり保育園をお借りして初めての歌声喫茶を開催しました（主催：憲法９条の会つくば、後援：茨城のうたごえ協議会）。

当日は心配した雨も何とか降らずに、担当者は一安心。保育園のホールは普段子どもたちが使っている素朴な木のイスとテーブルが配置され、なかなか良い雰囲気でした。

出演と歌のリードは会の代表で声楽家の堀部一寿さんと、百姓フォークのヒューマン・ファーマーズにお願いしました。当日は音響設備も「豪華」に整い、準備中に電気のブレーカーが落ちて保育園の関係者を驚かせました。

参加者は出演者も入れて５１人、遠方から来て頂いた方もあり、９条の会では初めてお目に掛かる方も多く、楽しく歌って交流が出来たと思います。

最初に震災の犠牲になられた方に黙とうをささげた後、伊藤代表から挨拶と訴えがありました。

第１部は堀部一寿さんの「まつり」からスタート、みんなで「ワッショイ、ワッショイ」の掛け声を合わせて気持ちが乗ってきたところで、リクエストに応えて、「バラはあこがれ」「山小舎の灯」「青い空は」「なつかしきヴォルガ」など、昔懐かしい歌や平和の歌、ロシア民謡などたくさん歌いました。民謡の「斉太郎節」は被災地宮城県の復興を願って、参加者の方がリードをしてくださいました。また、新しい曲「筑波山」を歌唱指導していただき、みんなで覚えました。つくばの持ち歌にしたいですね。

１部と２部の間には手作りケーキとお茶のティータイム、署名やＣＤの販売などの時間を取りました。お茶を飲みながらテーブルごとで話が盛り上がったようです。

第２部はヒューマン・ファーマーズのオリジナル「食糧主権が世界を救う」などの演奏と語りで、コンサートの雰囲気に。そしてこの頃になると会場はすっかり盛り上がって、リクエスト曲もたくさん寄せられ、「さとうきび畑」「折り鶴」「リムジン江」「野に咲く花のように」などとても歌い切れません。もっともっと歌っていたかったけれどあっという間の２時間半でした。

参加された方は昔よく歌っていた方が多かったようで、一般的に知られていない歌のリクエストが多かったですね。知らない歌ばかりで歌えなかったという声も少しありました。また、歌集が２種類になり、歌を探すのが大変だったようです。それとピアノが隅の方で動かせなかったため、堀部さんの姿が見えにくくてごめんなさい。

初めての企画で至らぬ点も多々ありましたが、皆様のご協力のおかげで楽しい時間を共にできたこと、そして賛同人が増え署名が寄せられ、９条の会の運動がまたひとつ拡がったことがとても嬉しいです。「またやってね」という声も聞こえてきました。

当日会場でご協力頂いた震災募金は５６００円が寄せられ、経費の残額１５０円と合わせて、社会福祉協議会を通して被災地の皆様へお届けします。

最後に、会場を貸して頂いた、まつぼっくり保育園の皆様はじめ、ご協力頂いた皆様に、心からお礼を申し上げます。次回を乞うご期待！

（佐藤）

9条の視点から

要注意！　改憲への動き着々

吉門　洋（憲法９条の会つくば・代表）

震災・事故後の混迷、中でも目をおおいたくなる主要政党間の混迷が続く中、奇妙に民主・自民両党が歩調を合わせているのが改憲手続きです。民主・自民・その他の諸党をひっぱっている改憲勢力は、３年前に改憲手続き法（いわゆる国民投票法）を強行可決しました。彼らは当時「手続き法が無いのは制度として不備だから必要」と言いましたが、それが成立すると、「手続き法があるのだから、憲法改正案を国会で作らなくては」と言い出しました。そして、この５月の混迷の中でも、改憲手続き法発効からちょうど１年目の 18 日、改憲審議のルールが参議院に整備されました（衆議院は既設）。前後して、民主党は党内の憲法調査会を改めて発足させました。

改憲勢力によれば、震災でも原発事故でも改憲が必要とされます。今の憲法には「危機管理」が書かれていない、と憲法が悪者にされています。原発は絶対安全で事故は起こり得ない、という「安全神話」を作り、危機管理の体制作りを排除してきた責任は、憲法にあるのでしょうか。冗談はやめてほしい。彼らの言う危機管理とは戒厳令とか強制移住といった事後処理のことではないかと想像したくなります。

おりから大阪府では教員に「君が代」を強制する条例を作り、それをイヤがる教師の首切りに進むようです。君が代をイヤがる理由は、「王様万歳」というその内容が民主主義の理念に反するからだというのですが、強制する側はそれを国歌として「命令には従え」と言う。命令に従わない者を免職にするのは「君が代」を踏み絵に使い、頑固な民主主義者を排除することになります。埼玉県知事はそれに賛意を示し、「国歌を愛せないような教師は中国かどこかへ行って教師になればよい」と発言したそうです。「非国民」ですか。そういえば中国では、人権活動家が投獄されていて、ノーベル賞の授賞式にも行かせてもらえなかったですね。きっと当局から「国家の体制に従えない者は、…」と言われていることでしょう。「日本へ行け」とは言わないかな？　しかし奇妙な裏返し現象というか、よく似たことがあるものです。

軍隊、戦争となれば人権を主張してはおれません。愛国心を強調する政治家は、常に人権より戦争が頭の中にあるのでしょう。そういう政治家を好む風潮を、社会は克服していく必要があると思います。

「憲法９条の会つくば」の活動から

定例署名は毎月第1日曜日に 12:00～アルス前で、9の日署名は毎月9日に西武2F 広場前で行なっています。

◆賛同人　2011 年 7 月 12 日現在
総数 835 名　（市内 617 名）
◆９条署名　７月８日現在 10,642 筆

定例署名、9の日署名で

６月、７月の定例と９の日の併せて４日間の署名行動で、延べ 21 名が参加して 154 筆、また、当会主催の歌声喫茶で１７筆、５名の賛同人から１２１筆の署名が寄せられました。６月の９の日行動で、カナダ国籍の女性が日本の安全を守っているのは「米軍でも、自衛隊でもなく、憲法９条そのものだと思っている。この９条を変えるなんて、信じられない」という趣旨の発言をされていました。（事務局）

九条の会講演会で脱原発を決意

６月４日、日比谷公会堂で九条の会発足７周年記念講演会が行なわれました。

ここ３年「九条の会講演会」は、小田実さん・加藤周一さん・井上ひさしさんの志を受け継いで…という内容でした。相次いで亡くなられ、どうなるのかと寂しい思いでした。しかし、その存在感はますます大きくなったと思います。私は９人の偉大さを、講演会に参加するたびに確信いたします。なにも活動していない私ですが、講演会へ参加し、９条への思いを新たにしております。

今年は、「未来世代にのこすもの――私たちは何を決意したか」と題しお話を伺いました。私は、原発反対に一抹の迷いがありました。しかし、お話を聞くうち、子どもたちに「平和」な未来を残していくことを考えるのなら、核も核エネルギーもこの地球上からなくさなければならないこと、そんな国づくりが必要なことに気づかされ、私も「決意」することができました。（H.S.）

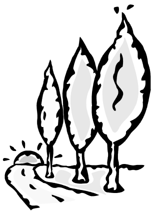
つくば市母親大会　講演アーサー・ビナードさん

６月 26 日（日）ゆかりの森を会場につくば市母親大会が開催されました。今年の記念講演は詩人で作家でもあるアーサー・ビナードさん。NHK でもよく見るし、ラジオでも活躍されているとのこと。立錐の余地もないほど満杯の会場でアーサーさんから語られ↗

戦争を想う 平和を想う

満蒙開拓団の記憶〔2〕

種子島 秀子（結城市在住）



＊前回：昭和 19（1944）年、７歳の時ご家族と従兄弟７人で京都の満蒙開拓団として満州に渡り、終戦後は土地を奪われていた中国人から開拓団が襲われ、お父さんを亡くされた種子島さんのその後です。

中国人の中にはいい人もいました。馬車を出して病人をのせてくれた中国人もいました。私は頭をなぐられて意識が３週間くらい戻らなかったそうです。それで馬車にのせてもらっていたそうです。村を離れてからどれくらいたっていたのかよく覚えていませんが、馬車にのって移動している最中に攻撃が始まり、馬が急に暴れだしました。私は飛び降りましたが、お年寄りが馬車に引かれて死にました。女の人は逃げる途中、髪の毛を丸めて、その中にお金を入れている人もいました。それが見抜かれて、髪の毛をバラバラにされ、お金をとられた人もいました。髪の毛を丸めていた人は皆そうされました。

吉林市に入ったばかりの時のことです。寒い夜でした。映画館に寝泊りした時、母が用を足そうと外へ出ると、ソ連軍の兵士に見つかり、連れて行かれそうになったのですが、妊娠7ヵ月でお腹が大きかったので、連れていかれずにすんだそうです。外にいた他の女性は連れて行かれてしまったそうです。女の子は丸坊主、頭を黒く塗って男の子のようにして身を守っていました。悪いことをするソ連兵もいましたが、いいことをするソ連兵もいました。チョコレートやビスケットをお腹をすかした私たちにくれたソ連兵もいました。

吉林省から逃げ出し辿り着いたところは、大きな炭鉱の町でした。並んで歩いていくと発電所の寮に連れて行かれ、そこで１週間くらい暮らしました。窓は壊れ、荒れ放題の家でした。私はケガも治り、病人扱いされなくなりました。食べ物は欠乏し、お母さんは日本人を頼って食べ物貰いに必死でした。子どもに食べさせるためです。時には黒砂糖やお餅を貰ってきてくれたこともありました。日本軍が残していった兜で炒めたコーリャンを食べ、お湯はなく、みんな下痢をしながら必死で生きていました。

そこからまた引越しをする途中、信子（５歳半）はお母さんに背負われながら息を引き取りました。毎日のように体の弱い子どもや老人は死んでいきました。新しい中国になってから、私は信子を埋めたあたりを捜しに行きましたが、妹の骨の埋めてある所はわかりませんでした。中国人の中に子どものいない人が多く、子どもをもらいにきました。お母さんは妹久子（２歳半）を一人養女としてあげました。難民生活の中で生きていけなかったからです。

私８歳、姉 11 歳の二人を連れて、母は中国人の人と再婚しました。養父はやさしい人でした。私たちをかわいがってくれました。12 月という寒い時に５番目の子が生まれました。８歳と 11 歳の私たちともう一人は無理だと思ったのでしょう。５番目の子も中国人に養子としてあげました。口内炎で亡くなったという噂が流れましたが、どこかに引越して今でも生きていると思います。厚生省に事情を話して捜してもらっています。残留孤児の写真をいつもよく見ていますが、わかりません。（次号に続く）

※本稿は「九条の会・ゆうき」に掲載された戦争体験の講演をまとめたものを転載させて頂きました。

→たのは、自国アメリカが推進する原発と核の問題でした。核開発に当たり当初から様々なウソが振りまかれてきました。原爆投下が戦争を終わらせ犠牲を最小限にした、核実験で世界から批判を浴び始めたことへのカモフラージュには核エネルギーは平和利用すれば人類の役に立つというキャンペーン、最近では地球温暖化を食い止めるために原子力発電が有効というウソ、などなど枚挙に暇がありません。

「エネルギーには元締めになれるものとそうでないものがある。自然エネルギーはどんな貧しい国にも貧しい人たちにも平等に降り注ぎ差別がない。元締めやドンは存在しない。だから先進国の独占資本は自然エネルギーが大嫌い」世界中の人々に差別なく降り注ぐ「お天道様」と、地球上の生物の害にしかならない放射性物質、どちらを選ぶかは明白です。核をめぐる真実が語られた講演会でした。（S）

憲法9条の会つくば 6周年のつどい2011

つくば9条まつり

2011年10月９日（日）
11時～16時半

＊模擬店・ステージ 11:00～13:00 **つくばセンター広場内**（予定）
＊講演会・9条カフェ 13:30～16:30 資料代500円 **サイエンスインフォメーションセンター**

記念講演 **伊藤千尋** さん(ジャーナリスト)

今年の６周年のつどいは模擬店やステージイベントを企画したつくば９条まつりを予定しています。記念講演は「活憲の時代」の著者、伊藤千尋さん。皆さまとの交流をメインに楽しめればと思います。

つく9レビュー

「田中優講演会 in tsukuba 2011 原発に頼らない社会へ」開催！

7月1日（金）講演会が開かれたノバホールに、直前の大雨にも関わらず約 500 名が集った。特に小さな子どもを持つ母親の姿が多いのが印象的でした。「3.11 を境に別の世界に入ったこと。放射能に安全値はないこと。チェルノブイリ 25 年後の奇形児出産と内部被曝の脅威。免疫力を高めるのは希望と食のあり方にあること。原子力発電の単価は実は一番高いこと。海上風車、波力発電、地熱発電などの新エネ技術力は、実は日本が一番高いこと。一社独占の送電を自由使用にすべきこと。電力の流れを、通信や IT 技術によって需要と供給の両方から制御し、きめ細かくかつ自動的に最適化する送電網スマートグリッドが注目されていること。このような情報を広く伝え、階段をつけるのは我々の役割であること」と田中優氏の正確なデータに基づいたわかりやすく流れるような説明に、講演予定時間はとっくに過ぎていたにも関わらず、誰一人立ち上がる者はおらず、確かな手応えと感動の輪が広がる講演会だった。（矢澤容子）

行動予定

8月 6日（土）8:15、9日（火）11:02
平和の鐘一振り運動
北斗寺、長寿館（9日のみ）にて
7日（日）定例街頭署名の日
12:00～ アルス前広場
9日（火） 16:00～17:00 9の日署名
新婦人・母親連絡会などの団体と共同行動 つくば駅周辺
19 日（金） 19:00～ 事務局会議
松代交流センター
9月4日（日） 定例街頭署名の日
12：00～ アルス前広場
9日（金）11:00～ 9の日署名
西武デパート外広場
18 日（日） 10：00～ 定例世話人会
結 41 号発行 松代交流センター

ウォッチ！改憲の動き（2011 年 1 月～6 月） 2010 年 8 月「新たな時代の安全保障と防衛力に関する懇談会」が報告書を民主党政権に提出、同年 12 月政府は「新防衛大綱」を閣議決定。専守防衛から動的防衛力を構築、自衛隊が米軍とグローバル展開をする方向に動き出し、改憲の動きが進行している。

2 月 02 日 民主党、党外交・安全保障調査会の下に 5 分科会を設置。「軍事的安全保障分科会」初会合。自衛隊の海外派兵恒久法、PKO 参加 5 原則・武器輸出 3 原則の見直し等を協議。
03 日 経済同友会、改憲・集団的自衛権行使を提言。改憲・集団的自衛権の行使、自衛隊派遣の恒久法制定、武器使用基準の緩和、武器輸出 3 原則の見直し。
3 月 30 日 文科省、中学校教科書の検定結果発表。2012 年使用される中学校教科書で、憲法改悪、侵略戦争美化を主張する自由社と育鵬社の 2 冊が含まれる。
31 日 民主党、参議院憲法審査会の規程案承認。
4 月 28 日 超党派の新憲法制定議員同盟、新しい憲法制定推進大会を開催。憲法審査会の始動と改憲論議を求める宣言を採択。
5 月 10 日 民主党、党憲法調査会を再設置。会長に前原誠司を任命。
18 日 参議院本会議、参議院憲法審査会規程を可決。
6 月 03 日 北澤防衛相、日米開発の迎撃ﾐｻｲﾙ輸出を承認。武器輸出 3 原則違反。
03 日 大阪府、「君が代」起立条例を強行可決
07 日 「憲法 96 条改正を目指す議員連盟」設立。改憲の発議要件を、「衆参両院の各 2/3 から過半数」に変える。
17 日 参議院本会議ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ監視法可決。共謀罪の復活がねらい。警察の恣意的運用や権限を拡大し、自由な市民活動を奪うと懸念されている。

インフォメーション

◇2011 原爆と人間展
日時:8 月 2 日（火）～9 日（火）毎日午前 10 時～午後 5 時
※2 日は午後 1 時より、9 日は午後 3 時まで、8 日は休館
場所:県南生涯学習センター（土浦駅西口）
7 日（日）は「はだしのゲン」「千羽鶴」の映画上映
問合先:原爆と人間展実行委員会 ℡029-823-7930（茨城県保険医協会内）

◇第4回原爆パネル展
日時:8月4日（木）～7日（日）10:00～16:00
場所:茎崎交流センター ロビー
＊8月7日（日）13:30～茎崎交流センター2階研修室にて原発学習会を開催
講師:小川矩弘氏（東大工学部原子力工学科助手）
主催:茎崎平和の会/新婦人/茎崎9条の会
連絡先:℡029-876-40841(軽部)℡029-876-1039(伊藤)

◇朗読劇 ヒロシマ・ナガサキ この子たちの夏2011
日時:8月6日(土) 開場 13:30 開演 14:00
場所:アルスホール（つくば市立中央図書館2F）
入場無料 保育あり/主催:サラダの会朗読グループ
問合先:℡029-887-3226(大曽根)℡029-877-2275(浦里)

◇憲法9条牛久の会
日時:8月6日（土）14:00～16:00
場所:ひたち野リフレ4F 会議室
講演:「原発・放射能問題を考える」五藤博先生
連絡先:事務局℡029-872-2707

◇九条の会・ゆうき
―「誰も書かなかった義勇兵」の著者・吉野年雄氏講演会
日時:8月6日（土）13:30 開場 14:00 開演
場所:結城市民情報センター2階スペースＢ
講演:吉野年雄氏（小美玉市在住・満蒙開拓青年義勇軍元隊員）/連絡先:℡0296-33-3419（冨永）

◇平和の鐘一振り運動―広島・長崎原爆の日に
日時：８月６日（土）8：15、９日（火）11：02
場所： 北斗寺 ＊場所がわからない方は旧桜庁舎駐車場に６日 7：50、９日 10：40 に集合お願いします。
連絡先：憲法９条の会つくば℡029-856-2286（長田）

◇映画「無言館」上映会
日時:8 月 14 日（日）開場 13:30 文化行事 13:30 上映 14:00
場所: 土浦市民会館小ホール
一般 1000 円(当日 1300 円) 中高生 500 円(当日 800 円)
主催:8・15 終戦記念日を考える市民のつどい
問合先:℡029-822-3120(真山)
ﾁｹｯﾄ取り扱い:℡029-858-1597(穂積)他事務局

◇広瀬隆、脱原発を語る
日時:9月 11 日（日）13:00～16:00
場所:土浦市民会館ホール
参加費:前売券 500 円、当日券 700 円(高校生以下無料)
連絡先:090-3094-7326(坂本)